

# 2023年2月～ ブルーベリー栽培観察記録

44期 園芸学科 田中敦子

松原治夫先生の「おいしい果樹の育て方～ポット栽培～」の授業で、「挑戦してみて！」の言葉に背中を押された。

ポット栽培は、栽培場所を移動でき、季節ごとに樹木に適した環境を整えることが容易である。  
初心者にお勧めは、イチジク（ロング・ドウト）、ブルーベリー（ラビットアイ系）、柿（太秋）

鳥によく狙われるため、  
収穫時期には、鳥よけネット  
が必須ですが・・・

これまでブルーベリーの樹も花も見たことがなかったが、栽培が容易で、2～3年で実をつける、病害虫の被害も少ない、  
(たぶん、猿に取られにくい) などから、私はブルーベリーを選択した。

ラビットアイ系は、暑さに強く関東以西の暖かい地域に適している。

1品種では実がつきにくいいため、同系統の違う2品種を別鉢で育てることにした。



2月 苗木の準備

オレゴンブルー パウダーブルー

3～4年目までは樹を大きく育てるため、全ての花芽を落として、実をつけさせないようにする。切り返し剪定をし、勢いのある枝を出させる。株元の弱い枝は間引いた。

花芽かな？  
わからなければ咲いてから  
取ればいいらしい

根詰まりがないか確認。詰まっていれば再生して植える。

初心者なので  
(><) 専用の土を  
購入

鉢と土の間に  
ウオータース  
ベース  
を作ること

この程度は  
大丈夫

鉢と  
土の準備

酸性の土を好む



直径30cm10号鉢

底にネットに入れた発泡スチロールを敷く



2月17日植替え 花芽を取る

4月11日新梢が伸びてきた

5月15日葉が良く茂った



オレゴンブルー

枝を左右に開いて誘引枝を左右に誘引  
日当たりの良い場所に移動 (夏の西日は避ける)

切り返した枝を水にさしておいた。  
だんだん花芽が膨らんで、沢山の花が咲いた →  
オレゴンブルーの花が先に、10日程遅れて  
パウダーブルーの花が咲いた。時期がずれたら、  
結実するのだろうか？ 不安・・・



3月14日花芽が徐々に大きくなり、中にはいくつもの蕾が付いている



4月11日2種類の花が咲いた。

4月25日 取り残した花芽があったようで、花が咲いた！  
愛らしくて取ることが出来ない!!  
実を見たくて残すことに・・・



約1cm

5月26日実

結実したら、花は落下しめしべが残る  
その後軸が上を向いてくる  
結実しない花はしぼみ、枯れる

オレゴンブルーの花

パウダーブルーの花



水やり：春～夏、鉢底から流れ出るくらいにたっぷり。実がなっている夏場に水が不足すると、果実はしぼんでおちる。冬は土がいつも湿った状態になるようにする

★実を沢山とるために  
もう1年我慢して樹を育てます。